



Copyright © 2016 NTT DATA INTRAMART  
CORPORATION

# 目次

---

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. ライセンス体系・課金体系
- 4. 販売条件
- 5. 製品標準価格

---

変更年月日	変更内容
-------	------

---

2016-08-01	初版
------------	----

---

## 前提条件

---

株式会社 NTT データ イントラマートはライセンス(使用許諾)を販売しております。製品によってライセンスの種類や使用許諾、各種販売条件が異なります。製品を正しくご利用頂くために、こちらのライセンスガイドブックをぜひご確認ください。本書では、intra-mart Accel Collaboration (電子会議室・アンケート含む) について記載しています。

## 本書に記載されている外部サイトのURL

---

本書内で記載されている外部URLは、2016-08-01時点のものとなります。

## 用語解説

---

次の用語について、説明の都合上、一部次のように略している箇所があります。

---

アプリケーションサーバ APサーバ

---

- 項目
- ライセンス体系
  - 課金体系

## ライセンス体系

APサーバにインストールするWARの単位で取得頂くライセンスです。

## 課金体系

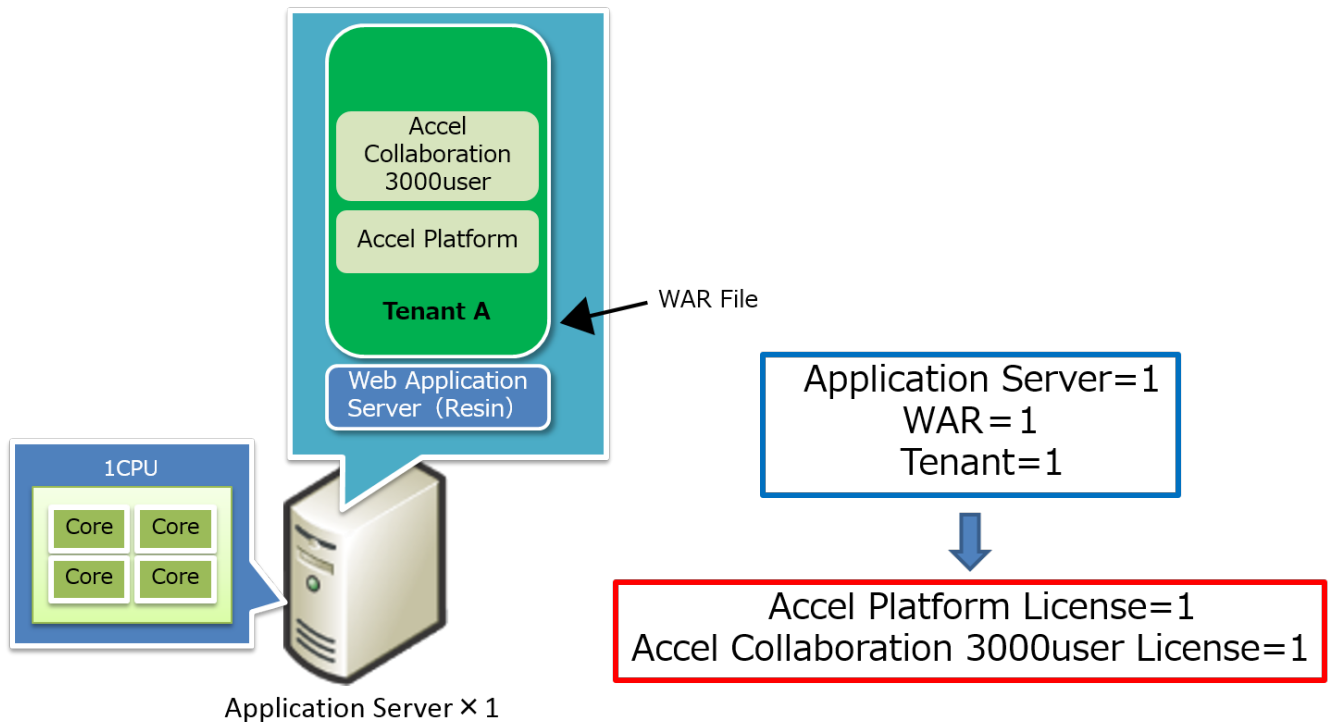
intra-mart Accel Collaboration を利用するユーザ数課金です。

テナントごとに、利用するユーザ数分のライセンスが必要となります。

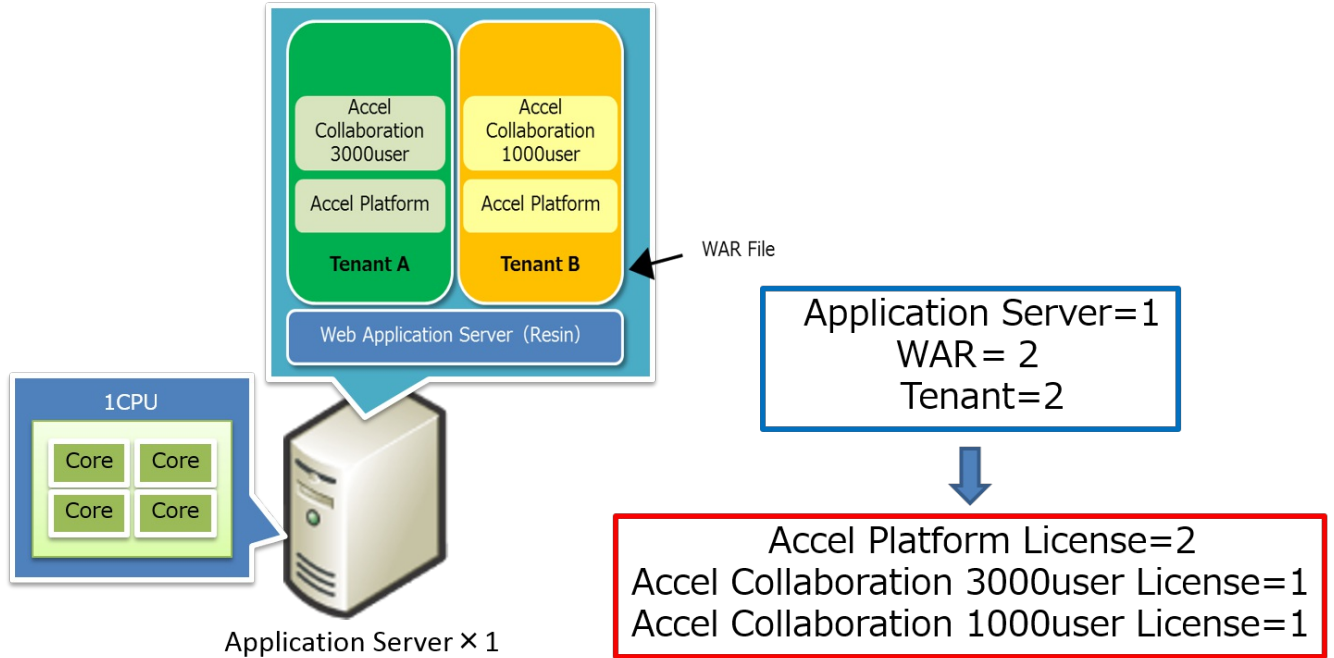
ただし、バーチャルテナント機能の利用により、テナント数よりWAR数が少ない場合には、WARごとに合計利用ユーザ数分のライセンスをご購入ください。

負荷分散や冗長化構成のようにAPサーバが複数台あろうとも、ライセンス数には関係ありません。

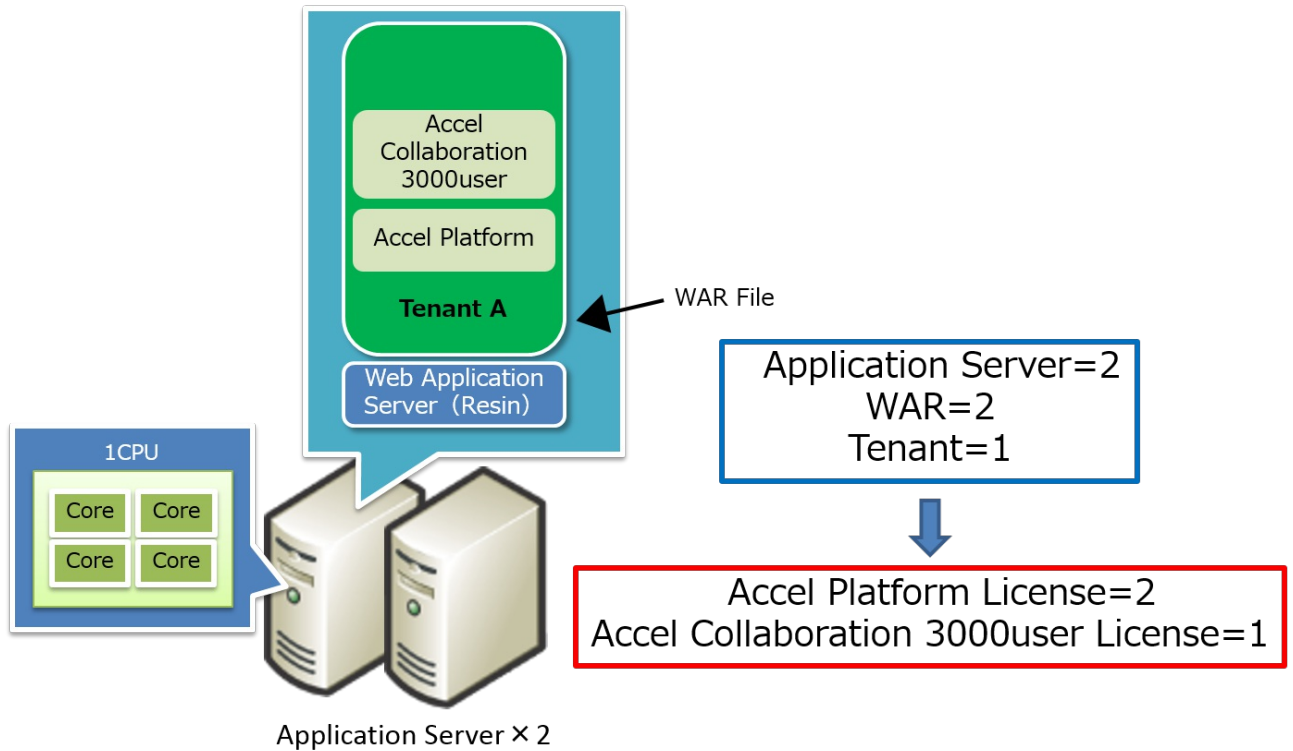
- 例1:1台のAPサーバにテナントを1つ配置する場合



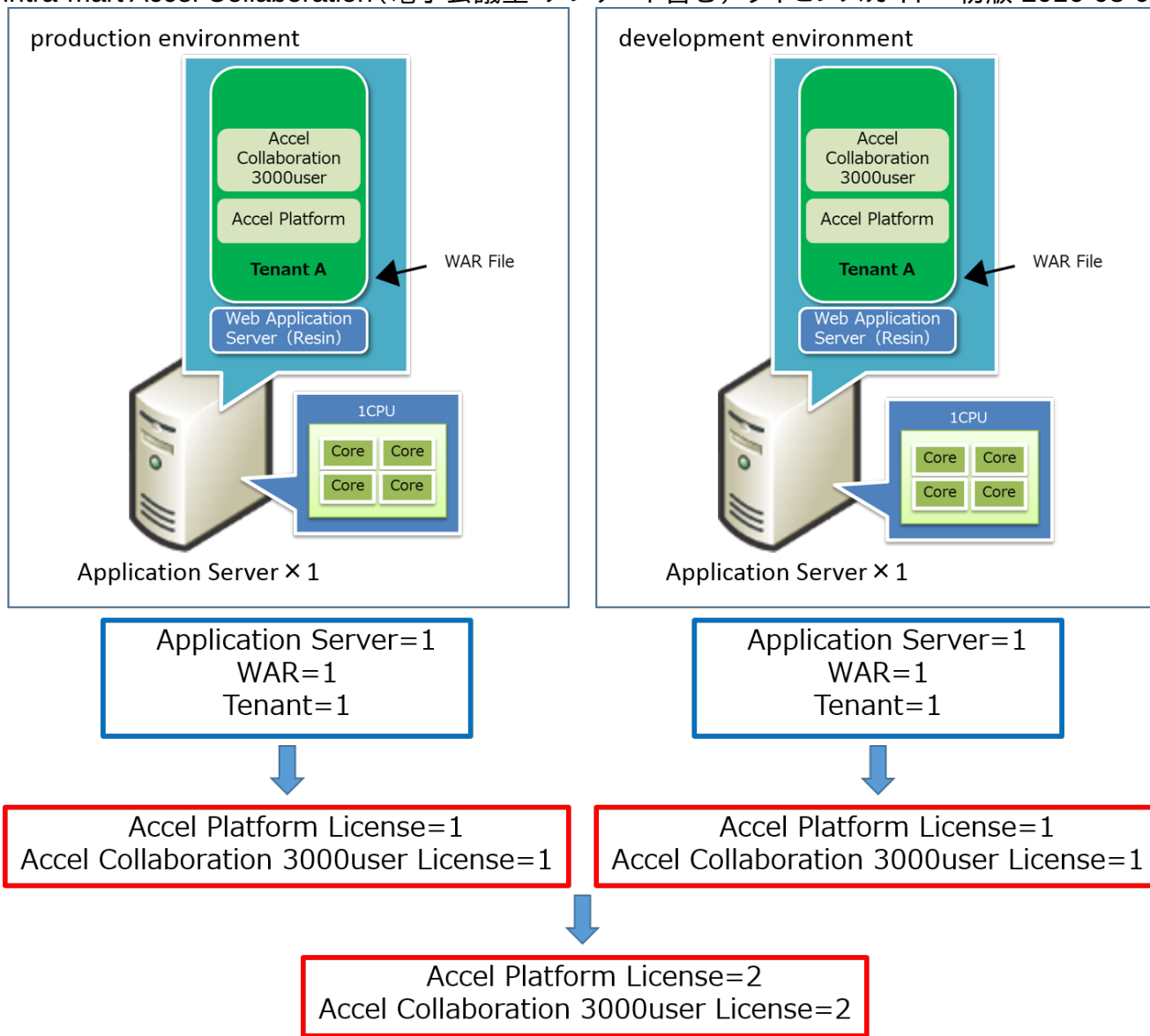
- 例2:1環境において1台のAPサーバにテナントを2つ配置し、テナントAは3000ユーザ、テナントBは1000ユーザが利用する場合。



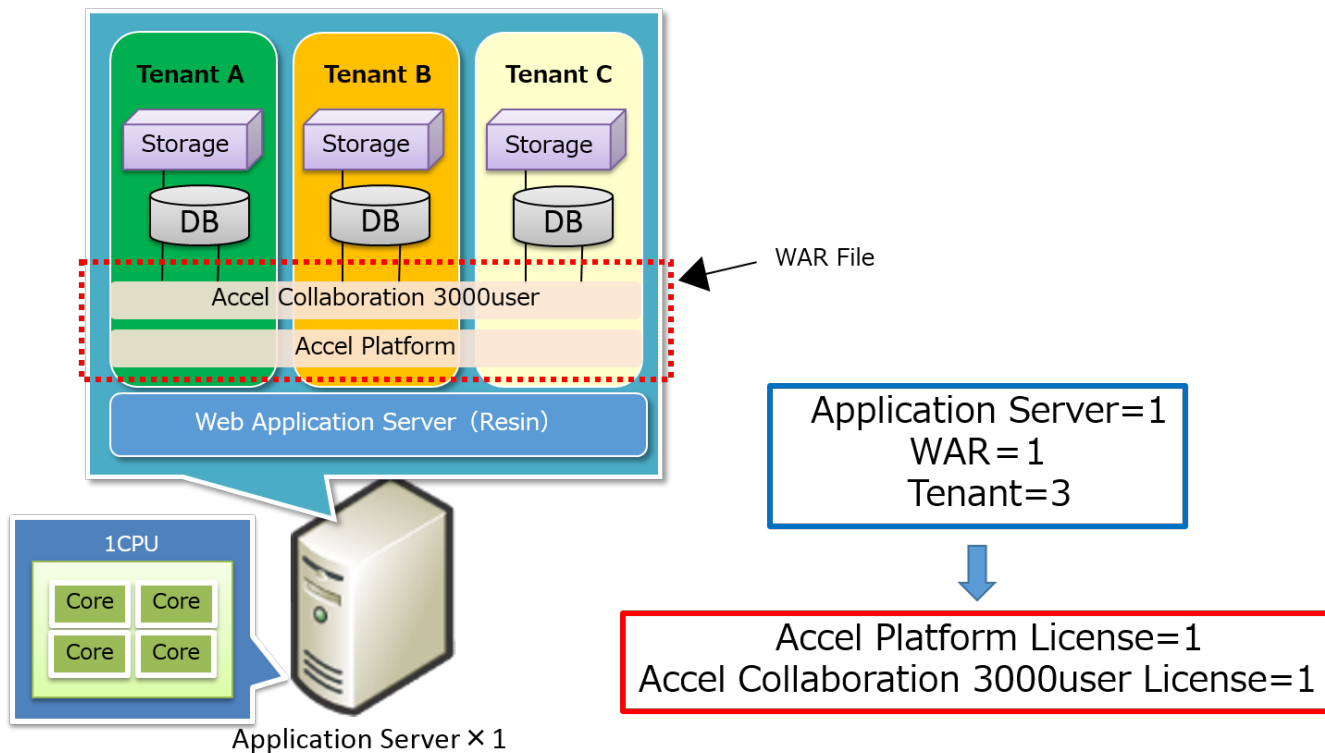
- 例3:1環境において2台のAPサーバ(冗長化構成)にテナントを1つ配置する場合。



- 例4:本番環境や開発環境等、環境が複数ある場合



■ 例5: バーチャルテナント機能を利用する場合





#### コラム

バーチャルテナント機能については下記ページをご確認ください。

[マルチテナント型システムの構築](#)



#### コラム

開発環境で利用するライセンスのユーザ数について、本番環境で利用するユーザ数と同数にする必要はございません。



#### コラム

仮想環境でご利用の場合も同様の課金の考え方となります。



#### 注意

各種クラウドサービス上でご利用の場合、弊社営業までご相談ください。



項目

- ホットスタンバイ/コールドスタンバイ時のライセンスについて
- デバッグサーバ用のライセンスについて
- V7.2以前の旧バージョンからバージョンアップをする場合のライセンス費用について
- ソースコード公開について
- その他条件

## ホットスタンバイ/コールドスタンバイ時のライセンスについて

ホットスタンバイの場合はライセンス課金対象となりますが、コールドスタンバイの場合はライセンス課金対象外となります。



### コラム

コールドスタンバイとは、intra-mart Accel Platform 及び intra-mart Accel Collaboration をインストールし、同一ライセンスのWARが同時に起動していない状態とします。

## デバッグサーバ用のライセンスについて

開発環境用に intra-mart Accel Collaboration ライセンスや intra-mart Accel Collaboration 開発ライセンスを購入している場合に限り、そのライセンスをデバッグ環境に適用することを認めます。

(本番環境用にご購入頂いたライセンスをデバッグサーバ用のライセンスに適用することは認めておりません。)

## V7.2以前の旧バージョンからバージョンアップをする場合のライセンス費用について

- 保守加入の場合

同じユーザ数のバージョンアップライセンスについてはライセンス費用の3掛けで提供致します。

バージョンアップとともにユーザ数を追加する場合、バージョンアップライセンスを購入頂いた後、既存ユーザ数のライセンス費用と追加後の総ユーザ数のライセンス費用との差額をお支払頂きます。

詳細は弊社営業までお問い合わせください。



### コラム

年間保守費用については既存ユーザ数の年間保守費用と追加後の総ユーザ数の年間保守費用との差額を12か月で割った金額となります。

ユーザ数追加を行った翌月から起算し、既存の保守契約の満了月までの残月数に乗じた価格がユーザ数追加当年の保守費用となります。次年度更新時からは、追加後の総ユーザ数の年間保守費用が適用されます。

- 保守未加入の場合

新規にライセンスをご購入頂きます。

ソースコードを公開しています。(一部公開していないソースコードもありますのでご注意ください。)

## その他条件

- 運用途中でユーザ数を追加する場合

ユーザライセンスの製品を購入後に運用途中でユーザ数を追加する場合、既存ユーザ数のライセンス費用と追加後の総ユーザ数のライセンス費用との差額をお支払頂きます。

### コラム

年間保守費用については既存ユーザ数の年間保守費用と追加後の総ユーザ数の年間保守費用との差額を12か月で割った金額となります。

ユーザ数追加を行った翌月から起算し、既存の保守契約の満了月までの残月数に乗じた価格がユーザ数追加当年の保守費用となります。次年度更新時からは、追加後の総ユーザ数の年間保守費用が適用されます。

\* 例: intra-mart Accel Collaboration (以下iAC)2000ユーザライセンスを購入済みであり、利用7か月目から1000ユーザ追加し、合計3000ユーザに利用させる場合。

【ライセンス費用】

iAC3000ユーザ ライセンス費用 - iAC2000ユーザ ライセンス費用 = ユーザ数追加ライセンス費用

【年間保守費用】

(当年)

iAC3000ユーザ 年間保守費用 - iAC2000ユーザ 年間保守費用 ÷ 12か月 × 6か月 = ユーザ数追加年間保守費用

(次年度以降)

iAC3000ユーザ年間保守費用

- 運用途中でユーザ数を削減する場合

新規買い直しとなります。

返金対応は致しかねますのでご了承ください。

- 機能別ライセンスについて

以下の機能については機能別ライセンスを提供しており、単体での購入・動作が可能です。

- ・スケジュール機能
- ・インフォメーション機能
- ・電子会議室機能
- ・アンケート機能

### コラム

アンケート機能には、**匿名アンケート**というアンケート方式がございます。

匿名アンケート方式における回答ユーザは、アンケート機能を利用するユーザとはみなしません。(アンケート機能におけるライセンスのユーザ数に含みません。)

製品標準価格は以下のページをご確認ください。

[製品標準価格](#)



#### コラム

年間保守費用については弊社営業または特約店にお問い合わせください。